

第 30 回岩手県食の安全安心委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和 5 年 2 月 13 日（月）14 時 00 分から 15 時 00 分 盛岡市勤労福祉会館 5 階 大ホール

2 出席者の氏名

(1) 委員

磯田朋子委員、小山田緑委員、菊地セツ子委員、千葉悦子委員、山口真樹委員、後藤和彦委員、嵯峨潤子委員、坂下大輔委員、佐藤圭委員、高橋一樹委員、新沼辰彦委員、梁川真一委員、笹田怜子委員、佐藤至委員、寺嶋淳委員、村元美代委員

(2) 関係室課等

堀川勇復興危機管理室主任、千葉哲也防災課主査、柚はなの学事振興課主事、八重樫香環境保全課主任主査、沖田潤一郎資源循環推進課主査、佐々木透若者女性協働推進室主査、小野償子健康国保課主任主査、篠田尚美健康国保課主査、佐々木浩一子ども子育て支援室特命参事兼次世代育成課長、高橋英聖産業経済交流課主任主査、高師拓也農林水産企画室主査、藤原桃代流通課主任主査、久水しほ流通課主事、澁谷まどか農業普及技術課上席農業普及員、廣田志紀子農業普及技術課主任、菅野史拓農産園芸課主任主査、佐藤裕夫畜産課主査、阿部瑛水産振興課技師、中川友治保健体育課保健体育担当課長、菅原史子保健体育課指導主事、松川仁紀生涯学習文化財課主任社会教育主事、高橋知子環境保健研究センター保健科学部長、千葉和久環境保健研究センター衛生科学部長、稲川多佳子県民生活センター主任主査

(3) 事務局

福田直環境生活部長、浅沼秀行環境生活部副部長、佐藤義房県民くらしの安全課総括課長、千葉正食の安全安心課長、佐藤直人主任主査、白藤裕久主査、白沢明美主査、小野寺秀宣主任

3 議事の概要

(1) 開会

(2) あいさつ

福田直環境生活部長があいさつを述べた。

(3) 議事

ア 食の安全安心の確保に係る令和 4 年度 of 取組状況と令和 5 年度 of 取組方向について

①岩手県食の安全安心推進計画

事務局から、資料 1 により説明があった。

【質問・意見等】

- 佐藤至委員長 リスコミについて、来年度のテーマは検討を始めているか

- **千葉正食の安全安心課長** まだ始めていないが、参加者へのアンケート調査、希望郷いわてモニターアンケートなどを参考に決定する予定。
- **佐藤至委員長** 今年の夏頃に原発処理水の放流も見込まれるので、テーマとして検討していただきたい。
- **千葉正食の安全安心課長** 検討する。

- **磯田朋子委員** 取組内容 23 番の指定薬物の含有が疑われる物の買上調査について、情報提供があって買い上げたものなのか、県が一定の基準により買い上げたものなのか教えて欲しい。また、実施結果を教えて欲しい。
- **築田尚美健康国保課主査** ビデオショップ等の販売店において販売されている健康食品等について違法成分が入っていないか検査するもので、例年 4～5 件の検体を採り各検体問題ない結果である。

- **佐藤至委員長** 昨年あたりに、痩せるゼリーが問題になったことがあったが、岩手県では確認されていないか。
- **築田尚美健康国保課主査** 厚生労働省から連絡はあったが、現時点において県内で被害等の情報はない。

- **寺嶋淳委員** 16 ページの「(2) 食品における残留農薬や添加物等の検査の実施」について、収去検査の内容は取組内容 51 番にある残留農薬や遺伝子組み換えが対象か、微生物や添加物の検査も実施しているのか。
- **千葉正食の安全安心課長** 51 番に記載があるもの以外にも、細菌検査、添加物、放射性物質濃度、食品の規格基準への適合状況等について実施している。
- **寺嶋淳委員** 例えば微生物検査であれば、どのようなものを対象としているのか。
- **千葉正食の安全安心課長** 規格基準があるアイスクリームや一般的に食中毒が発生しやすいとされる惣菜や弁当を検査対象としている。

②岩手県食育推進計画

事務局から、資料 2 により説明があった。

【質問・意見等】

- **千葉悦子委員** 取組 45 の食育ダンスは続けて欲しい。保育園と市民センター、市役所保健福祉課の合同で食育映画会というものを計画している。来年度も実施したいと考えているが、補助金のようなものはあるか。
- **千葉正食の安全安心課長** ダンスについては継続したいと考えている。把握している範囲において補助金はないが、食育推進県民大会の中で実施するなどの検討ができればと考えている。

- **後藤和彦委員** コロナにより人の集まる行事が自粛されてきたが、令和5年度は実施可否を現場に確認するのではなく、県が進んで実施していくようにして欲しい。一旦コロナで中止になってしまったために「もうやらなくても良い」となってしまわないようにして欲しい。
- **千葉正食の安全安心課長** コロナの状況に応じてということもあるが、必要な事業は実施したいと考えている。
- **山口真樹委員** 学校での出前講座について時間に配慮しているか。食事を終えた後に食育の授業という流れだと効果的な授業になる。それとあわせて、県産食材の日などに合わせてもらおうと県産品を知ることにもなり、食事に対して前向きに考えるようになると思う。コロナ禍により子どもたちが食事を楽しむ機会が減っているので、色々な要素を組み合わせることで効果的に実施してほしい。
また、取組38の「早寝早起き朝ごはん運動」について、小学校では以前より朝食を食べる割合が上がってきているが中学校になると低くなっていく。小中学校あわせて取り組みを進めて欲しい。
- **千葉正食の安全安心課長** 出前講座については、時間も含めてできる限り依頼側の要望に沿うように対応したい。
- **菊地セツ子委員** 取組45の食品表示110番受理件数9件について、どのような内容か。
- **千葉正食の安全安心課長** 県民くらしの安全課内に食品表示専門員を配置しており、そこで受けた件数であり、事業者からの食品表示方法に関する相談が主なもの。
- **佐藤至委員長** 特に違法性がある内容の相談ではないということか。
- **千葉正食の安全安心課長** そのとおり。
- **佐藤至委員長** 取組51の動画作成について、例えばYouTubeなどで見られるようになっているのか。
- **農業普及技術課澁谷まどか上席農業普及技術員** 県のYouTubeページに掲載している。今年度作成分は現在編集作業中であり、完成次第掲載する予定になっている。
- **菊地セツ子委員** 今の質疑に関連して、食生活改善推進員活動において郷土料理を普及する際などに、調理の様子を動画でも残すことも行っている。伝承としても有効だし、日積りに希望に添えない際に動画を使ったりしている。
- **千葉正食の安全安心課長** 食生活改善推進員の活動において、動画を作って活動しているので活用してほしいとの御意見と承った。参考にさせていただく。

イ 令和5年度岩手県食品衛生監視指導計画（案）について

事務局から、資料3により説明があった。

【質問・意見等】

- **磯田朋子委員** 課題3に書いてある遺伝子組み換え食品の表示制度について、事業者への指導も大切だが、「遺伝子組み換えでない」の表示が変わることなので消費者にとっても適切に理解できるような情報提供をお願いしたい。
- **千葉正食の安全安心課長** リスクコミュニケーションやホームページ等により、情報提供したい。

- **千葉悦子委員** HACCP に沿った衛生管理について、管理用のソフトで保育園や市町村におすすめできるものや、斡旋しているものはないか。
- **千葉正食の安全安心課長** 福島県で作った事業者用アプリのようなものを想定されていると思うが、県ではアプリの斡旋等を行っていない。アプリに負けないような簡単な手引書を使って食品衛生協会と一緒に普及に努めている。
- **千葉悦子委員** 保育園では紙で管理していることが多く負担が大きい業務なので、ソフトがあれば良いと感じている、という意見である。

ウ その他

事務局から、資料4により「食の安全安心危機事案の対応について」及び「指定外添加物を使用した食品製造業者に対する処分について」等の報告があった。

【質問・意見等】

なし

(4) その他

なし

(5) 閉会